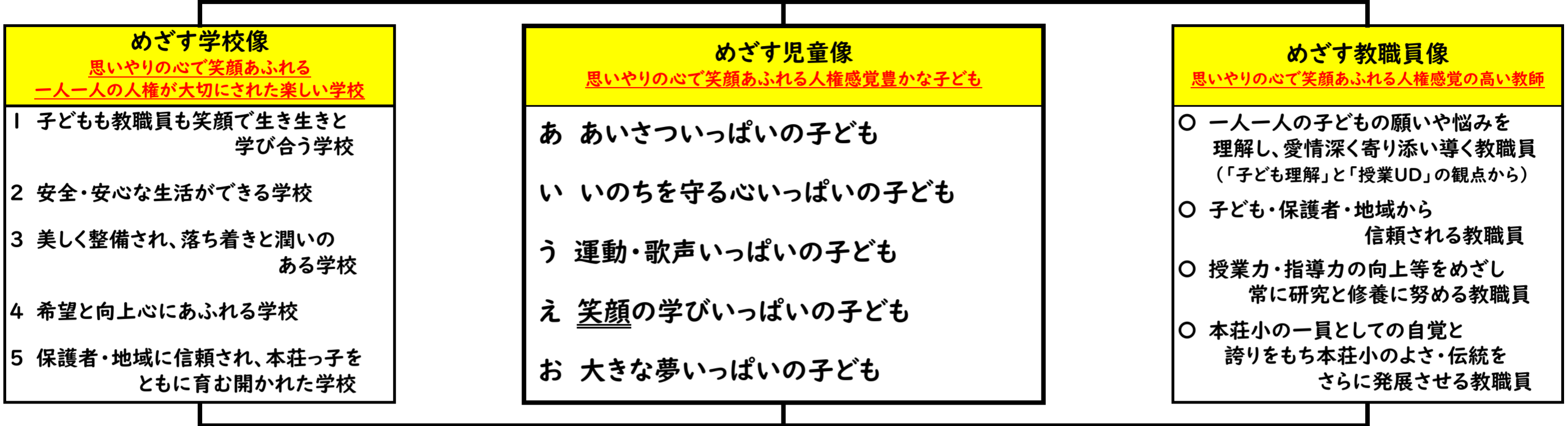


令和6年度 本荘小学校学校経営方針

※朱書は本年度の重点事項

熊本市立本荘小学校 校長 西川 英臣

校訓	<b>なかよく・かしこく・たくましく</b>
学校教育目標	<b>「あいうえお」 いっぱいの子どもの育成</b>



重点目標 「自尊感情を高め未来を切り拓く力を身につけるための人権教育の推進」  
 <認め、褒め、励まし、互いを理解し、支えあい、伸ばす>

学校経営スローガン  
**思いやりの心と笑顔で「学校が楽しい、授業が楽しい、みんな大好き」本荘小**

- 人間尊重の精神を基底におき、人権教育を柱とし、徳・知・体の調和のとれた主体性・創造性・協働性にあふれる教育を推進する。
  - 家庭地域社会との連携を図りながら、学習指導要領に基づいた、「生きる力」を育成するための「本荘小学校の教育」を推進する。
- |  |  |
|--|--|
| 1 「子ども理解」を基盤とし、すべての子どもが大切にされる学校づくり<br>2 授業のUD化を図り、一人一人の学力を確実に伸ばす<br>3 すべての職員で一人一人の子どもの育てる（自尊感情を大切に）<br>4 すべての子どもが安全、安心にすごせる学校づくり | ○達成感のある授業づくり（授業改善、効果的な教材研究、「子ども理解」に基づいた実態分析）<br>○子どもの困り感に寄り添う学級経営（特別支援教育の観点、授業UDの観点）<br>○子どもを認め、褒め、励まし、自己肯定感を高める教師のかかわり<br>○保護者・地域と手を携えながら子どもを育てる学校づくり |
|--|--|

努力目標及び実践事項

徳	知	体
豊かな心	確かな学力	健やかな身体
しなやかな心の育成	自ら学ぶ力の育成	安全安心で健康な生活力の育成
1 いのちを守る教育の推進 <自分のいのちは自分で守る：逞しい心の育成> ◎いじめや差別を許さず、お互いの違いを認め合いいのちを大切に指導の充実 ◎自分のよさや可能性を自覚し自己有用感に裏付けされた自尊感情を育む指導の充実	1 「教えた」から「学びたい」への授業改善 ～主体的な学びと学び合いを大切にした授業の充実～ ◎ねらいに迫るめあて、課題意識、「問い」の設定 ◎見通しと振り返りを設定した単元構想、授業デザイン及びカリキュラムマネジメント ◎追究意欲を基盤とした、子どもたちの主体的な活動 ◎学習意欲を高め、理解させるための工夫（ICT活用） ◎子どもを認め生かす場面の設定（メタ認知力、自尊感情の育成）	1 安全教育、防災教育の充実 ◎登下校や日常生活（校内・校外）において、自らきまりを守る指導の徹底 ◎危機回避学習の効果的で持続的な取組 ◎地域の実態に応じた「防災教育年間指導計画」の作成・工夫
2 かかわりを大切にした体験活動の推進 <互いを理解し支えあう：思いやりの心の育成> ◎学級や異学年との交流を通じた縦割り班活動の充実と推進 ◎「創立150周年」を軸とした地域との交流や参画をめざした活動	2 一人一人を大切にした学力充実（重点目標） ◎確実に学力をつける授業（子どもと教師の意識改革） ◎家庭学習の充実と工夫 ◎学力向上のための試行	2 体力づくりの推進 ◎体育の授業の充実（学年の発達段階に応じた運動量を確保した教科体育の充実） ◎保健指導や食育に関する指導の充実
		3 健康的な生活習慣の育成 ◎「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とした生活習慣 ◎給食後の歯磨き指導の徹底と歯の健康習慣の充実

家庭・隣接小中学校・保育園・幼稚園、地域社会との連携

○家庭との連携推進（基本的な生活習慣・家庭学習） ○地域との連携体制（地域人材の活用、防災教育の充実） ○幼保小中の連携推進（連携の日の充実）